

リョービ株式会社

2018年3月期 決算説明会

(証券アナリスト、機関投資家向け)

2018年5月29日

1. トピックス

- | | |
|-----------------------------|------|
| (1) 連結業績 | P. 4 |
| (2) 事業別の業績 | P. 5 |
| (3) 旭テックアルミニウム株式会社の株式取得について | P. 6 |
| (4) その他トピックス | P. 8 |
| (5) 剰余金の配当について | P. 9 |

2. 2018年3月期 連結業績

- | | |
|------------|-------|
| (1) 連結業績 | P. 11 |
| (2) 事業別の業績 | P. 16 |

3. 2018年12月期 連結業績予想

- | | |
|------------|-------|
| (1) 連結業績予想 | P. 22 |
| (2) 事業別の状況 | P. 27 |

1.トピックス

3/38

(1) 連結業績

単位：億円

	'17/3期 実績	'18/3期 実績	'18/3期 実績 (調整後)	'18/12期 予想
売上高 *1	2,413	2,472 [2.5%]	2,109	2,150 [1.9%]
営業利益 *1	126	132 [4.7%]	118	127 [8.0%]
経常利益	120	130 [8.5%]	117	129 [10.2%]
親会社株主に 帰属する当期純利益	83	78 [-6.0%]	78	98 [25.9%]

*1 前連結会計年度まで営業外収益に計上していた「作業くず売却益」を売上高に組替えており、
'17/3期の売上高、営業利益は、それぞれ748百万円増加

*2 '18/3期実績(調整後)は、'18/12期に合わせた期間(国内 9ヵ月('17/4-12月)、海外 12ヵ月('17/1-12月))

4/38

(2) 事業別の業績

単位：億円

		'17/3期 実績	'18/3期 実績	'18/3期 実績 (調整後)	'18/12期 予想
ダイカスト	売上高	1,864	1,964 [5.4%]	1,714	1,870 [9.1%]
	営業利益	98	106 [8.2%]	96	120 [25.3%]
住建機器	売上高	262	231 [-11.7%]	206	80 [-61.1%]
	営業利益	15	15 [-1.0%]	14	3 [-78.5%]
印刷機器	売上高	285	275 [-3.5%]	187	200 [7.0%]
	営業利益	14	12 [-13.4%]	7	4 [-46.6%]
合計	売上高	2,413	2,472 [2.5%]	2,109	2,150 [1.9%]
	営業利益	126	132 [4.7%]	118	127 [8.0%]

[]内は増減率

* '18/3期実績(調整後)は、'18/12期に合わせた期間(国内 9カ月('17/4-12月)、海外 12カ月('17/1-12月))

5/38

(3) 旭テックアルミニウム株式会社の 株式取得について

(内容)

2018年4月2日付、旭テック株式会社の子会社である旭テックアルミニウム株式会社の発行済み株式の全部を取得し、旭テックアルミニウム及び同社の子会社豊栄工業株式会社を当社の子会社とした。 *参考 2017年3月期 連結売上高31億円

(取得の理由)

現状の当社ダイカスト事業国内生産体制では2020年以降に生産能力不足が予想されるため、国内ダイカスト事業の生産能力を增強し、将来の受注量増加への対応を図る。また、中京地区拠点の確保により、将来的な物流費の低減も期待できる。

6/38

(3) 旭テックアルミニウム株式会社の 株式取得について

(取得子会社の概要)

旭テックアルミニウム株式会社

所在：静岡県菊川市東横地、土地：約5万6千平方メートル、従業員：40名

事業内容：アルミダイカストの製造販売

豊栄工業株式会社

所在：三重県いなべ市員弁町、土地：約3万9千平方メートル、従業員：38名

事業内容：アルミ鍛造の製造販売



7/38

(4) その他トピックス

■ パワーツール事業の譲渡について

当社は、パワーツール事業を承継する新会社を2018年1月10日に設立し、同時に新会社株式の80%を京セラ株式会社へ譲渡

新会社は京セラグループの一員として、パワーツール事業を運営

新会社名：京セラインダストリアルツールズ株式会社

(参考) パワーツール事業 売上高160億円 (2017年3月期)

総資産156億円 (2017年3月期末)

■ 決算期の変更について

(変更前の決算期間)

国内：4月1日～3月31日 海外：1月1日～12月31日

(変更の内容)

国内の決算期間を1月1日～12月31日に変更

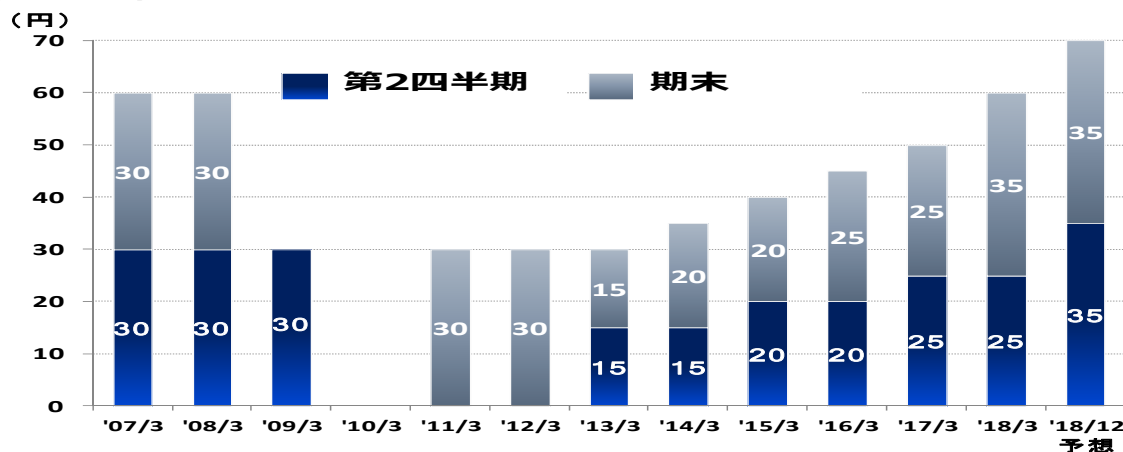
★ 2018/12期 (経過期間) : 国内は2018年4月1日～12月31日の
9カ月決算、海外は12カ月決算

8/38

(5) 剰余金の配当について

(利益配分に関する基本方針)

中長期的に連結業績の向上を図り、成長投資と株主の皆様への安定した利益還元
の維持を基本にしている



		'11/3期	'12/3期	'13/3期	'14/3期	'15/3期	'16/3期	'17/3期	'18/3期	'18/12期 予想
1株当たり 配当金	第2四半期	0円	0円	15円	15円	20円	20円	25円	25円	35円
	年間	30円	30円	30円	35円	40円	45円	50円	60円	70円
配当性向 (連結)	年間	21.1%	23.2%	48.3%	27.4%	34.0%	15.7%	19.4%	24.8%	23.1%
設備投資	年間	90億円	203億円	275億円	162億円	156億円	162億円	169億円	188億円	260億円

* 当社は平成29年10月1日付で普通株式5株を1株に株式併合しており、1株当たり配当金は株式併合後の基準で換算している。

9/38

2. 2018年3月期 連結業績

(1) 連結業績

決算のポイント（前期比）

- ダイカスト事業は国内、海外(主に中国とタイ)ともに増収、中国とタイの増益が寄与し、全体で増益
- 住建機器事業はパワーツール事業を譲渡した影響により減収減益、印刷機器事業は主に欧州、アジア向け輸出の減少により減収減益
- 親会社株主に帰属する当期純利益は米国子会社での税金費用の増加などにより減益

11/38

(1) 連結業績

単位：億円

	'17/3期 実績	'18/3期 実績	増減	増減理由
売上高*1	2,413	2,472	59 [2.5%]	ダイカスト、国内・中国で増加
営業利益*1	126 (5.2%)	132 (5.3%)	6 [4.7%]	
経常利益	120 (5.0%)	130 (5.3%)	10 [8.5%]	支払利息減少
親会社株主に 帰属する 当期純利益	83 (3.5%)	78 (3.2%)	-5 [-6.0%]	米国税金費用増加
配当*2	50円	60円	+10	
為替レート（期中平均）				()内は売上高利益率 []内は増減率
米ドル	109円	112円	3円	
英ポンド	150円	145円	-5円	
中国元	16.5円	16.6円	0.1円	
タイバーツ	3.1円	3.3円	0.2円	

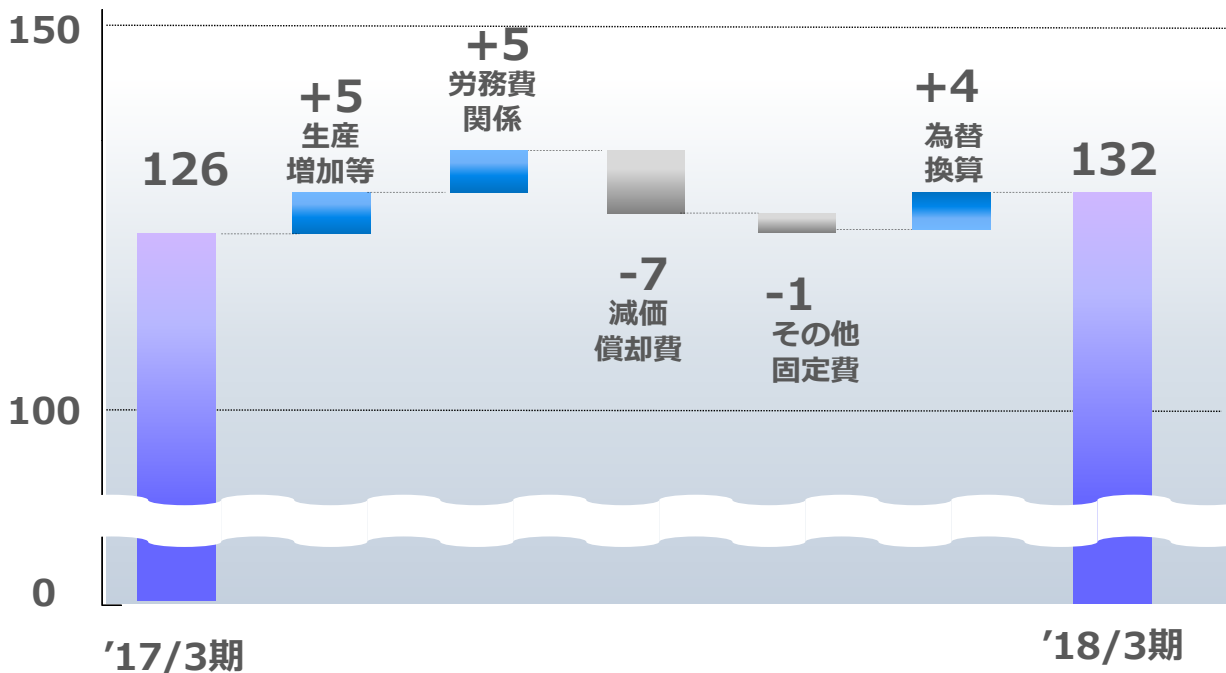
*1 前連結会計年度まで営業外収益に計上していた「作業くず売却益」を売上高に組替えており、
'17/3期の売上高、営業利益は、それぞれ748百万円増加

*2 '17年10月1日付で5株を1株とする株式併合を実施している為、当該株式併合の影響を考慮した金額

12/38

(1) 連結業績 営業利益増減要因('17/3期比)

(億円)



13/38

(1) 連結業績 貸借対照表

■ パワーツール事業の譲渡に伴う資産減少の一方で、ダイカスト事業の拡大に伴う資産の増加が上回り、総資産は増加

単位：億円

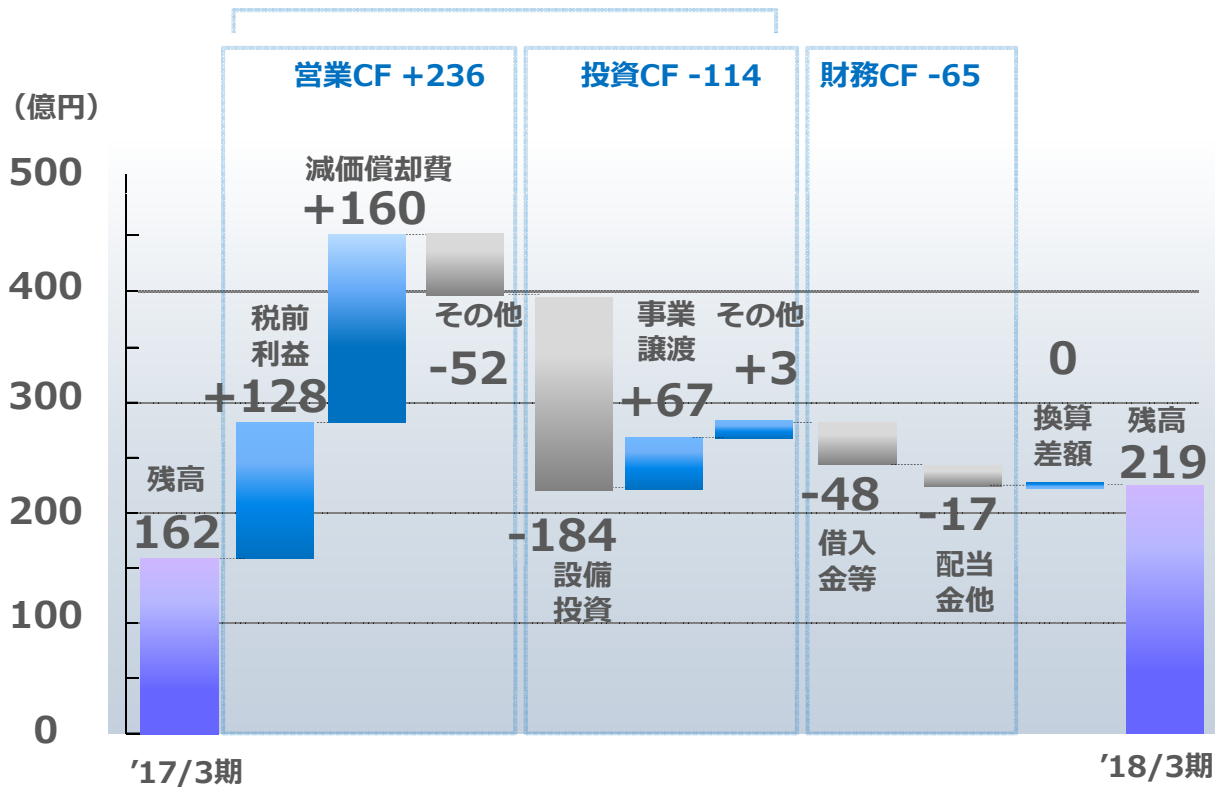
	'17/3	'18/3	増減	内訳	
				為替影響	期末休日影響
流動資産	1,267	1,356	89	7	49
現預金	174	232	58	1	41
売上債権	575	632	57	3	8
有価証券	11	7	-4	0	0
棚卸資産	454	438	-16	2	0
その他	52	47	-6	1	0
固定資産	1,361	1,378	17	9	0
有形固定資産	1,114	1,078	-36	9	0
無形固定資産	30	31	0	0	0
投資その他の資産	218	270	53	-1	0
資産合計	2,629	2,735	106	15	49
流動負債	1,095	1,038	-57	7	49
仕入債務	385	459	74	2	49
短期借入金	502	383	-119	3	0
その他	208	196	-12	1	0
固定負債	379	459	80	1	0
長期借入金(含む社債)	239	320	81	0	0
その他	140	139	-1	0	0
株主資本	1,022	1,084	62	8	0
その他の包括利益累計額	60	76	16	0	0
非支配株主持分	72	77	5	0	0
純資産合計	1,154	1,238	84	8	0
負債・純資産合計	2,629	2,735	106	15	49

14/38

(1) 連結業績

キャッシュフロー増減

フリーCF +121



15/38

(2) 事業別の業績

単位：億円
 () 内は売上高利益率
 [] 内は増減率

		'17/3期 実績	'18/3期 実績	増減
ダイカスト	売上高	1,864	1,964	100 [5.4%]
	営業利益	98 (5.2%)	106 (5.4%)	8 [8.2%]
住建機器	売上高	262	231	-31 [-11.7%]
	営業利益	15 (5.7%)	15 (6.3%)	0 [-1.0%]
印刷機器	売上高	285	275	-10 [-3.5%]
	営業利益	14 (4.8%)	12 (4.3%)	-2 [-13.4%]

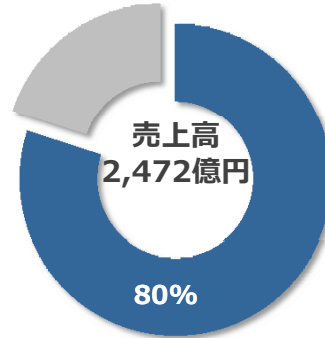
16/38

(2) 事業別の業績 ダイカスト事業

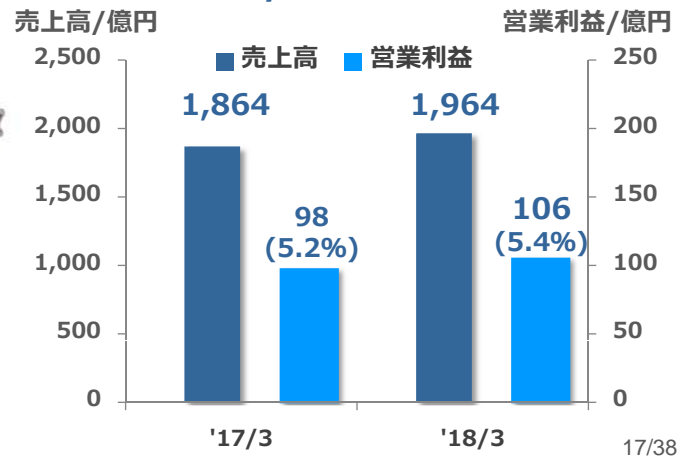
- 国内、海外(主に中国とタイ)ともに増収、中国とタイの増益により、全体で増益



売上高占有率

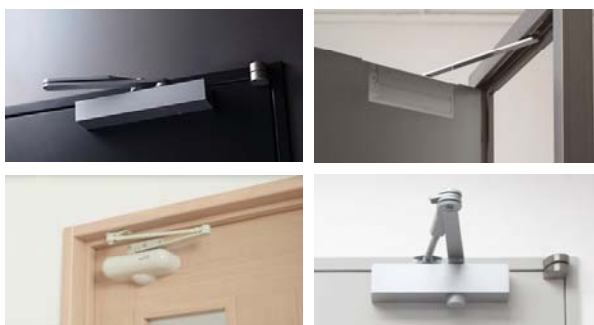


売上高/営業利益 (率)

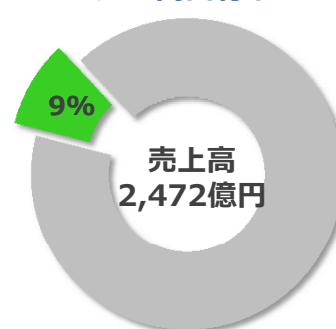


(2) 事業別の業績 住建機器事業

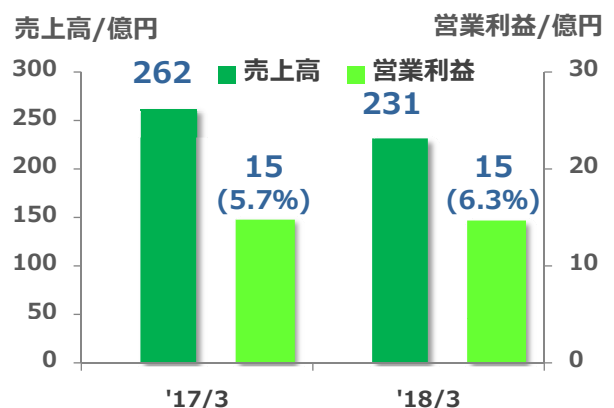
- 減収、減益
- パワーツール事業を、2018年1月10日付で譲渡したため通期減収
- 事業譲渡に伴う利益への影響は軽微
- 建築用品事業は、国内、海外ともに増収



売上高占有率

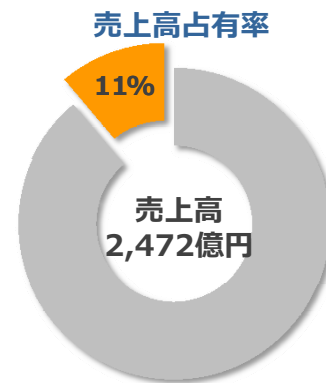


売上高/営業利益 (率)

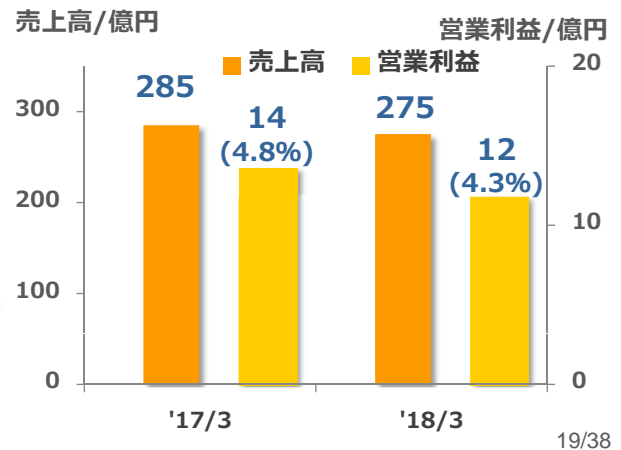


(2) 事業別の業績 印刷機器事業

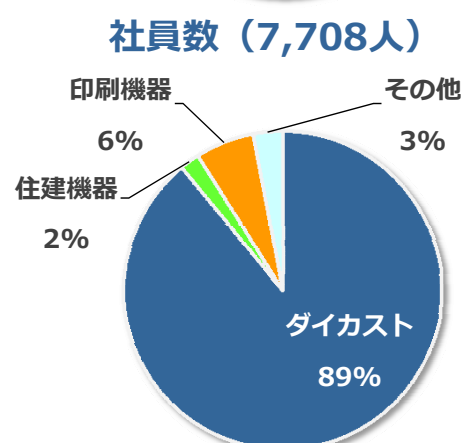
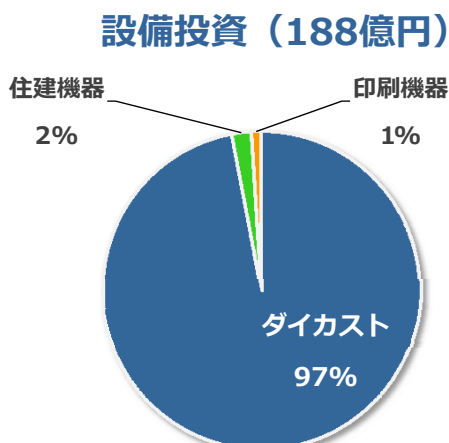
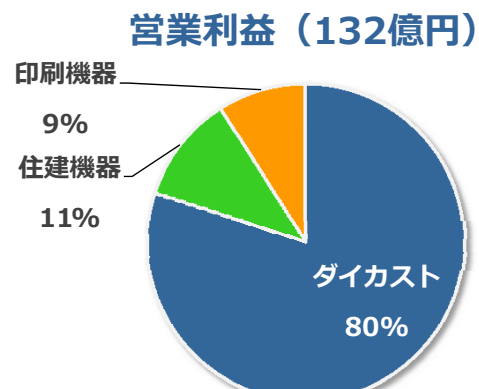
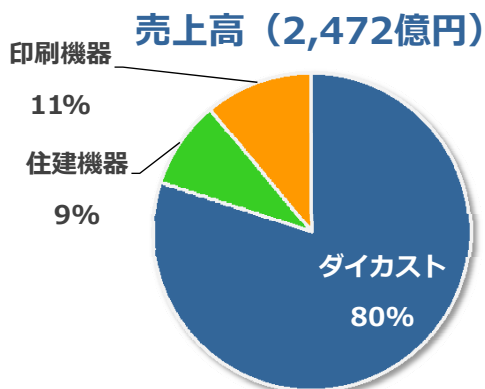
- 減収、減益
- 国内・海外ともに減収
- 海外は米州向け輸出は増加したが、欧州と中国を含むアジア向け輸出の減少が大きく、全体で減収
- 輸出向け販売台数の減少により減益



売上高/営業利益 (率)



(2) 事業別の業績 '18/3期 事業別構成比



3. 2018年12月期 連結業績予想

21/38

(1) 連結業績予想

単位：億円
 () 内は売上高利益率
 [] 内は増減率

	'18/3期 実績	'18/12期 予想	備考
売上高	2,472	2,150	'18/3期と'18/12期では比較の対象が異なるため、増減記載なし
営業利益	132 (5.3%)	127 (5.9%)	
経常利益	130 (5.3%)	129 (6.0%)	一部有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法へ変更した事により、従来の方で算出した場合と比較すると減価償却費は20億円減少する見込
親会社株主に 帰属する 当期純利益	78 (3.2%)	98 (4.6%)	
配当*	60円	70円	

* '17年10月1日付で5株を1株とする株式併合を実施。'18/3期については、当該株式併合の影響を考慮した金額

為替レート	(期中平均)	(想定レート)	(増減)
米ドル	112円	105円	-7円
英ポンド	145円	150円	5円
中国元	16.6円	16.5円	-0.1円
タイバーツ	3.3円	3.4円	0.1円

〔 1%円高に変動した場合の
年間の営業利益影響額 〕

米ドル -60百万円
 英ポンド -15百万円
 中国元 +10百万円

22/38

(1) 連結業績予想

増収・増益

単位：億円
 () 内は売上高利益率
 []内は増減率

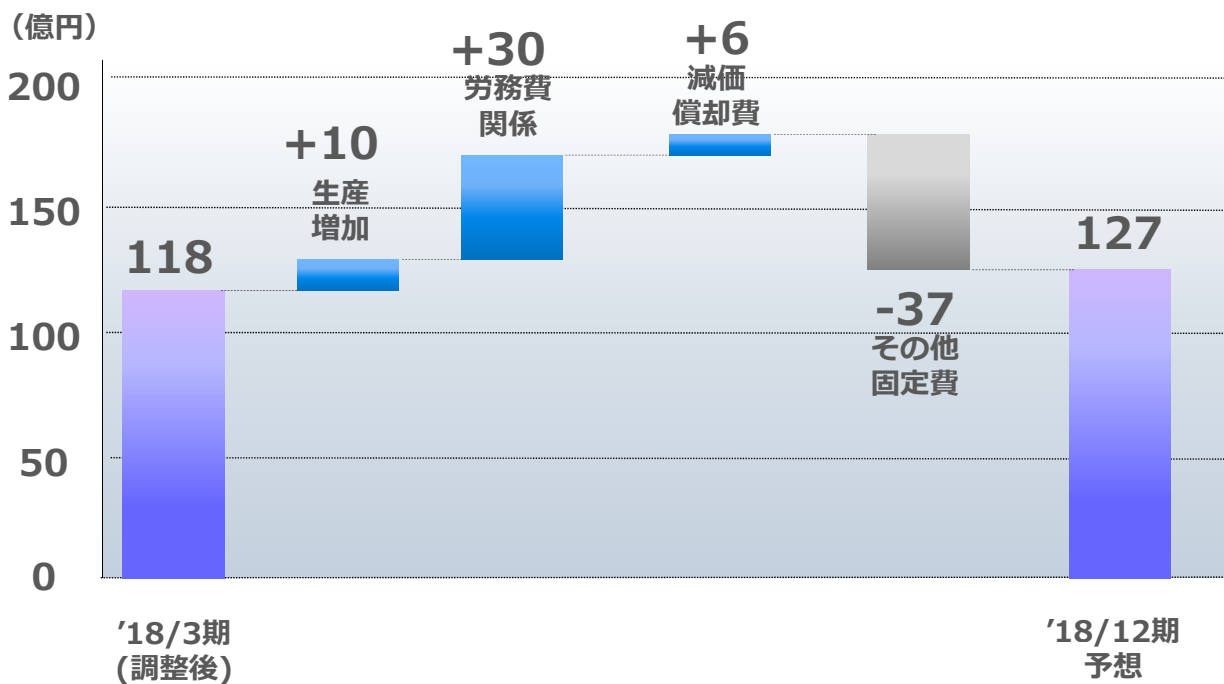
	'18/3期 実績 (調整後)	'18/12期 予想	増減	増減理由
売上高	2,109	2,150	41 [1.9%]	パワーツール事業譲渡の減少影響はあるものの、ダイカスト事業は国内、海外とも増収
営業利益	118 (5.6%)	127 (5.9%)	9 [8.0%]	ダイカスト事業の増収により増益
経常利益	117 (5.5%)	129 (6.0%)	12 [10.2%]	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	78 (3.7%)	98 (4.6%)	20 [25.9%]	

* '18/3 実績(調整後)は、'18/12期に合わせた期間(国内 9ヵ月('17/4-12月)、海外 12ヵ月('17/1-12月))

為替レート	(期中平均)	(想定レート)	(増減)	〔 1%円高に変動した場合の 年間の営業利益影響額 〕	
米ドル	112円	105円	-7円		米ドル -60百万円
英ポンド	145円	150円	5円		英ポンド -15百万円
中国元	16.6円	16.5円	-0.1円		中国元 +10百万円
タイバーツ	3.3円	3.4円	0.1円		

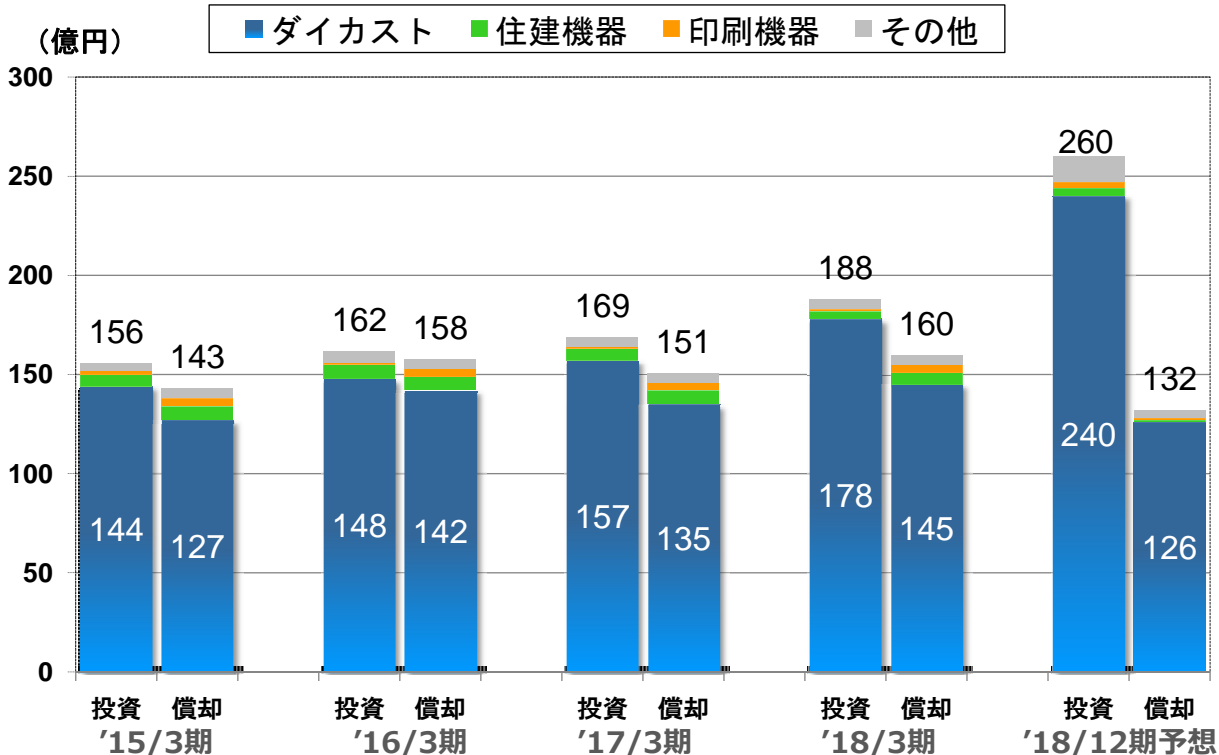
(1) 連結業績予想

営業利益増減要因('18/3期(調整後)比)



(1) 連結業績予想

設備投資・減価償却費の推移

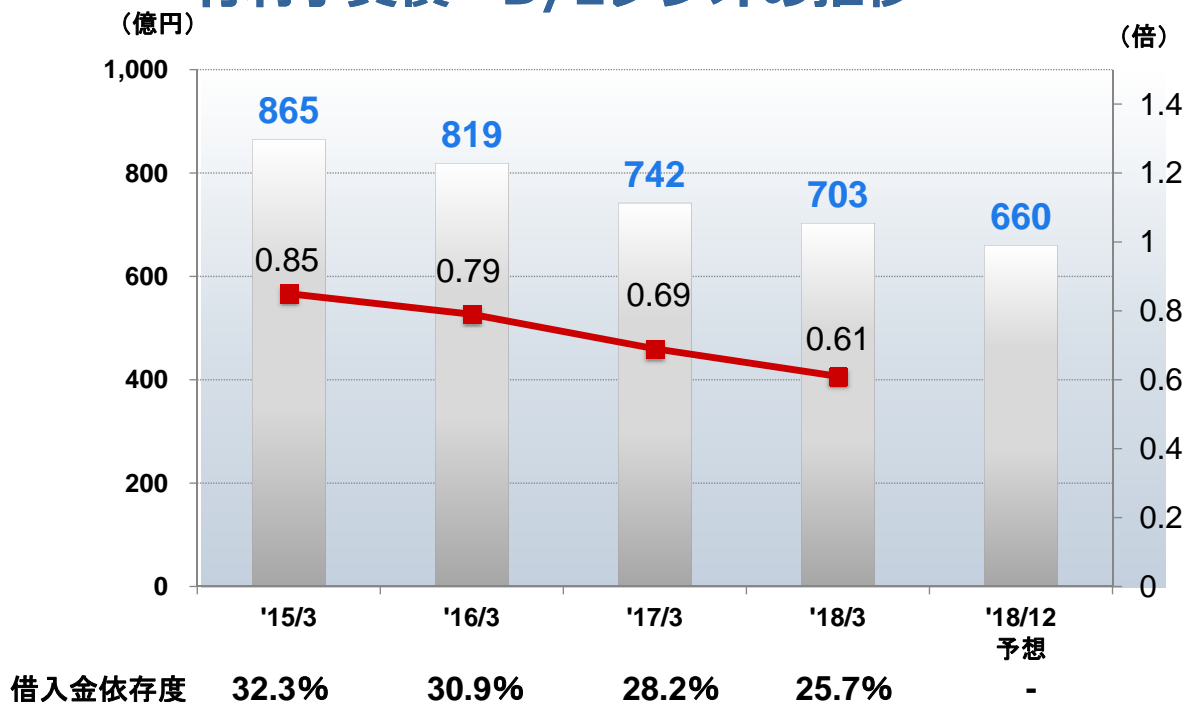


* '18/12期より、一部の有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更。'18/12期への影響については、従来の方法で算出した場合と比較すると減価償却費は20億円減少する見込みとなる。

25/38

(1) 連結業績予想

有利子負債・D/Eレシオの推移



<注>借入金依存度 = 有利子負債 / 総資産

26/38

(2) 事業別の状況

単位：億円
 () 内は売上高利益率
 []内は増減率

		'18/3期 実績	'18/12期 予想	増減	備考
ダイカスト	売上高	1,964	1,870	-	'18/3期と'18/12期では比較の対象 が異なるため、増減記載なし
	営業 利益	106 (5.4%)	120 (6.4%)	-	
住建機器	売上高	231	80	-	
	営業 利益	15 (6.3%)	3 (3.8%)	-	
印刷機器	売上高	275	200	-	
	営業 利益	12 (4.3%)	4 (2.0%)	-	

27/38

(2) 事業別の状況(調整後)

単位：億円
 () 内は売上高利益率
 []内は増減率

		'18/3期 実績 (調整後)	'18/12期 予想	増減	見通しのポイント
ダイカスト	売上高	1,714	1,870	156 [9.1%]	国内、海外ともに増収 海外は米国、欧州、中国、タイのいずれ も増収 償却方法変更により減価償却費は20億円 減少
	営業 利益	96 (5.6%)	120 (6.4%)	24 [25.3%]	
住建機器	売上高	206	80	-126 [-61.1%]	パワーツール事業譲渡の影響で減収 物流費の増加などの影響で減益
	営業 利益	14 (6.8%)	3 (3.8%)	-11 [-78.5%]	
印刷機器	売上高	187	200	13 [7.0%]	中国を含むアジアや欧州向けなどの増加 で増収。利益については、円高の想定や 展示会費用増により減益
	営業 利益	7 (4.0%)	4 (2.0%)	-3 [-46.6%]	

* '18/3 実績(調整後)は、'18/12期に合わせた期間(国内 9ヵ月('17/4-12月)、海外 12ヵ月('17/1-12月))

28/38

(2) 事業別の状況 主な施策

【ダイカスト事業】

- ・戦略製品(ボディ・シャシー、軽量化部品、エンジンブロック等)の開発力強化
- ・グローバル品質マネジメントの強化
- ・生産工程の自動化推進、など

【住建機器事業】

- ・国内市場でのシェア拡大
- ・国内生産拠点の充実
- ・海外物件市場での拡販

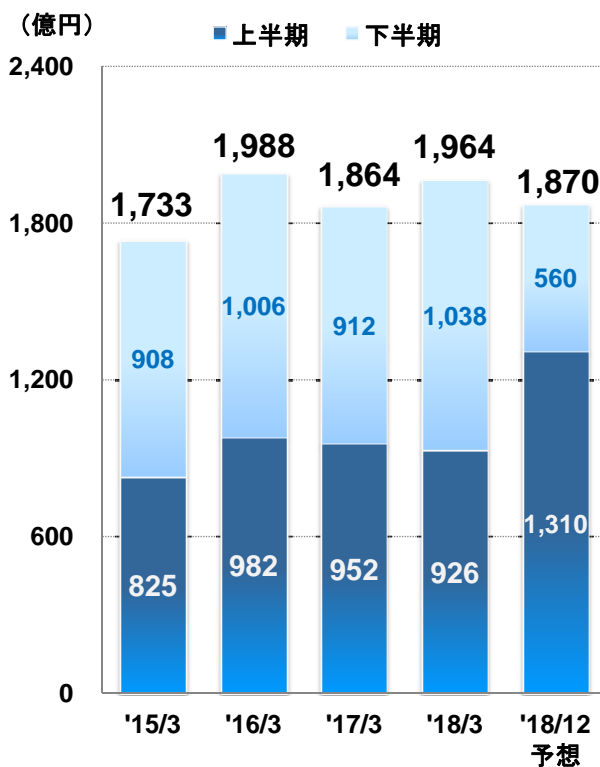
【印刷機器事業】

- ・パッケージ分野での拡販
- ・フレキシブルな生産体制の構築
- ・新規事業分野への対応(SATシステム ※成形用フィルム印刷等)

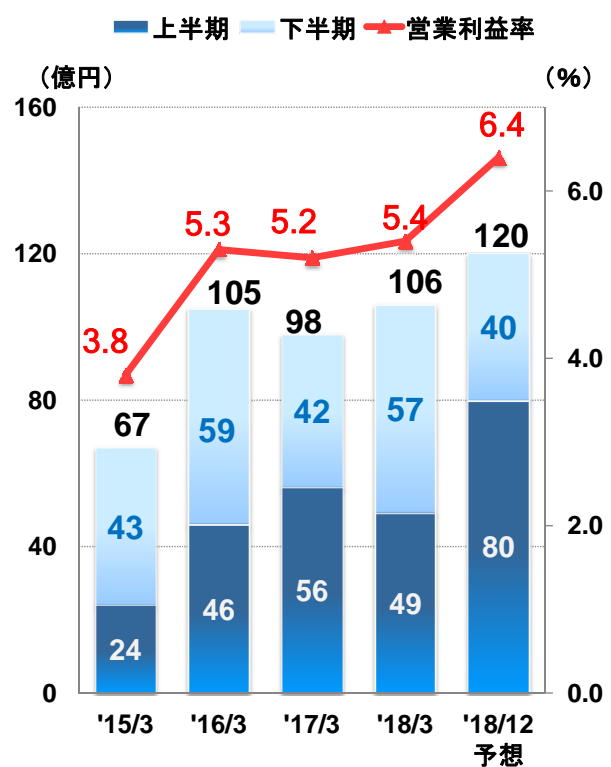
29/38

(2) 事業別の状況 ダイカスト事業

売上高の推移



営業利益・売上高営業利益率の推移

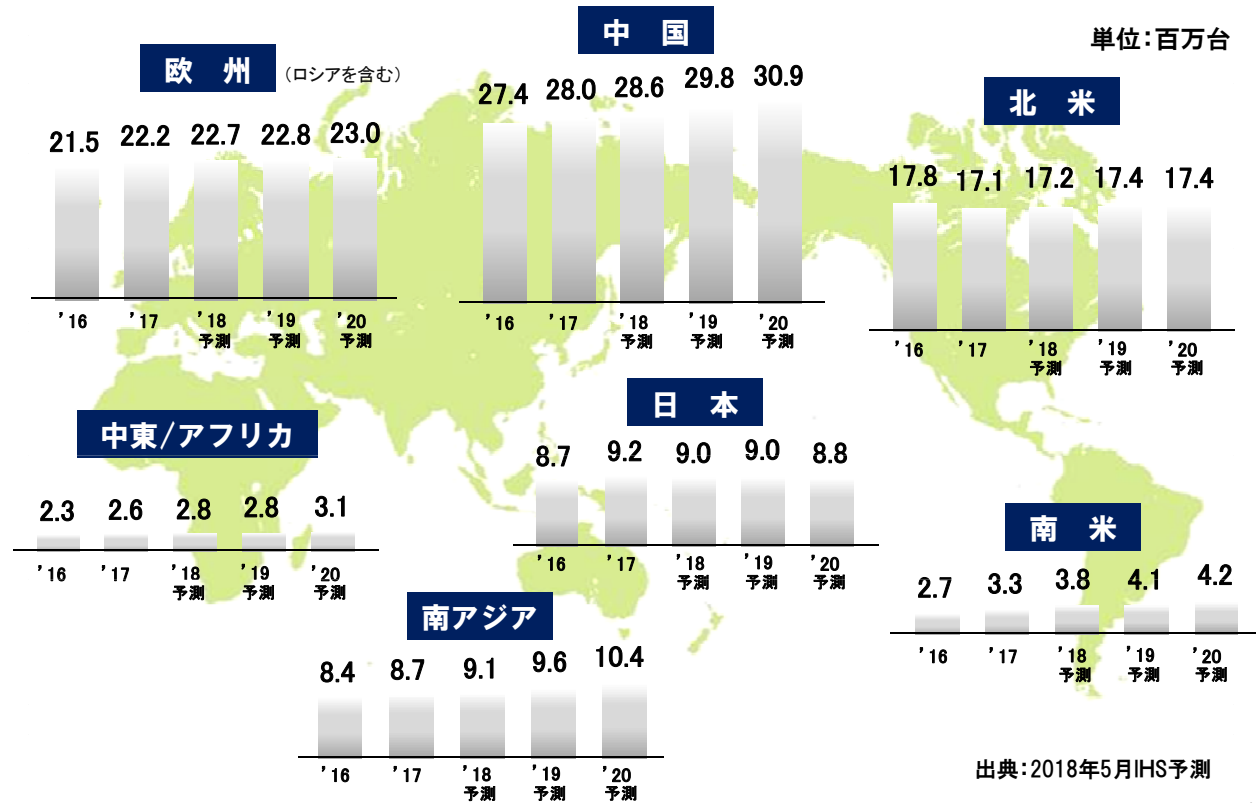


* '18/12 予想は上半期(国内6ヵ月(4-9月)、海外9ヵ月(1-9月))、下半期(国内、海外ともに3ヵ月(10-12月))

30/38

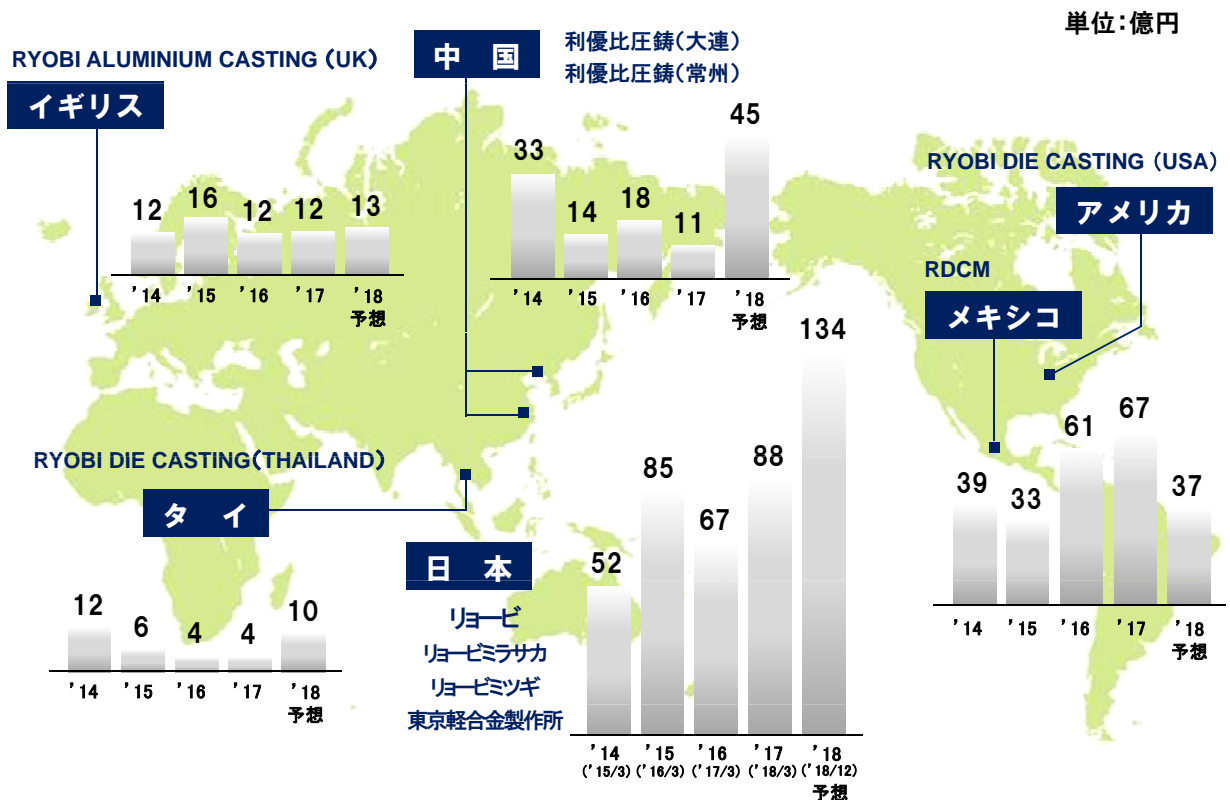
(2) 事業別の状況

ダイカスト事業 世界の自動車生産の予測



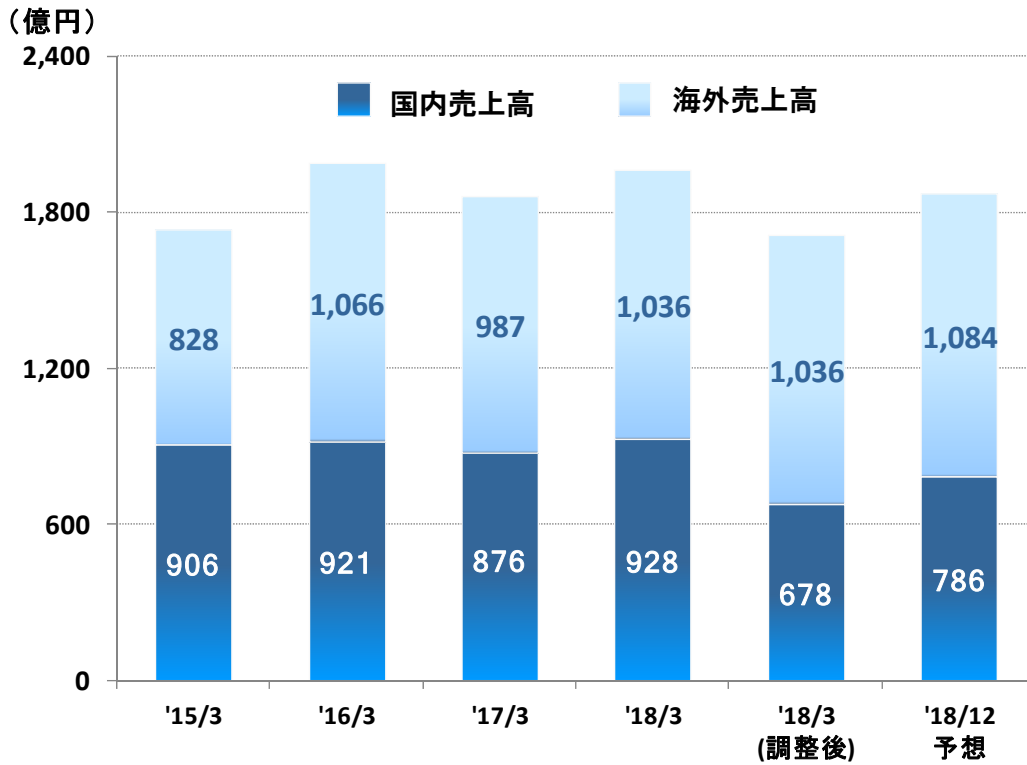
(2) 事業別の状況

ダイカスト事業 地域別設備投資の推移



(2) 事業別の状況

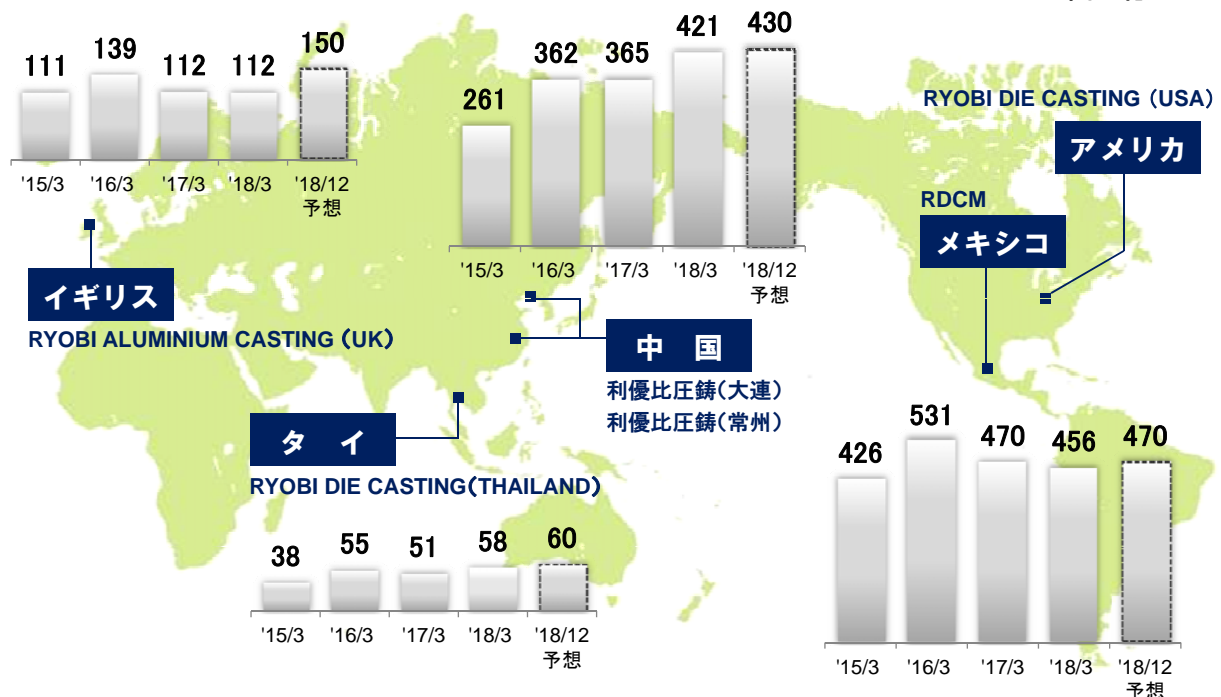
ダイカスト事業 国内・海外売上高の推移



(2) 事業別の状況

ダイカスト事業 海外地域別売上高の推移

単位:億円



(2) 事業別の状況

ダイカスト事業 お得意先の取引状況

売上高順位（'18/3期）と地域別納入実績

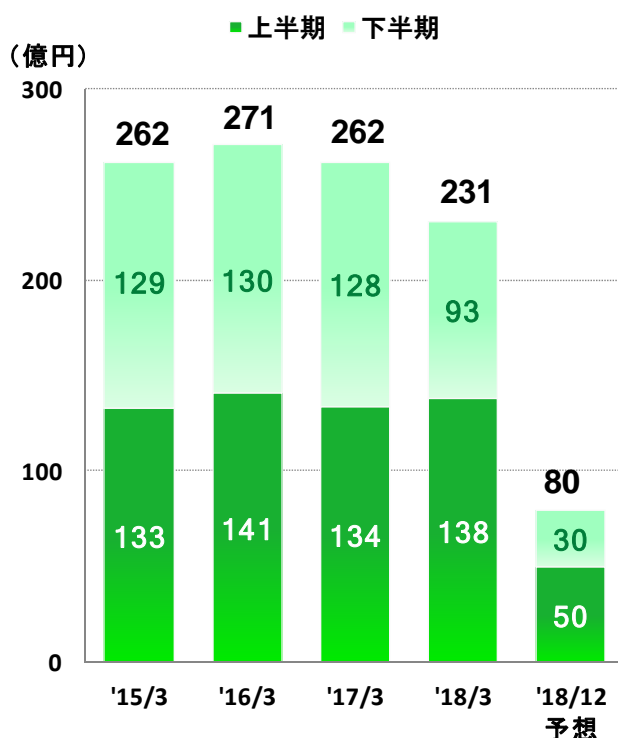
順位	お得意先	日本	北米	欧州	中国	東南アジア	その他
1	ゼネラルモーターズ		✓	✓	✓		
2	S U B A R U	✓					
3	フォード・モーター		✓	✓	✓		
4	フォルクスワーゲン			✓	✓		
5	ジヤトコ	✓	✓		✓	✓	
6	アイシン・エイ・ダブリュ	✓			✓		
7	三菱自動車工業	✓			✓	✓	
8	スズキ	✓				✓	
9	本田技研工業	✓	✓		✓	✓	
10	日野自動車	✓				✓	

(注) お得意先の工場が存在する地域で、ダイカスト製品の納入実績がある地域に✓点を付けている。
(当社拠点からの直接・間接輸出分を除く)

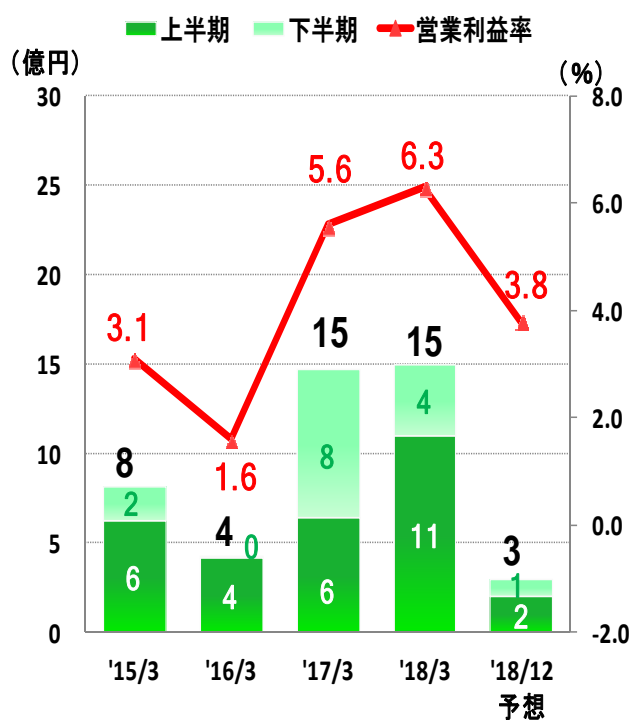
35/38

(2) 事業別の状況 住建機器事業

売上高の推移



営業利益・売上高営業利益率の推移

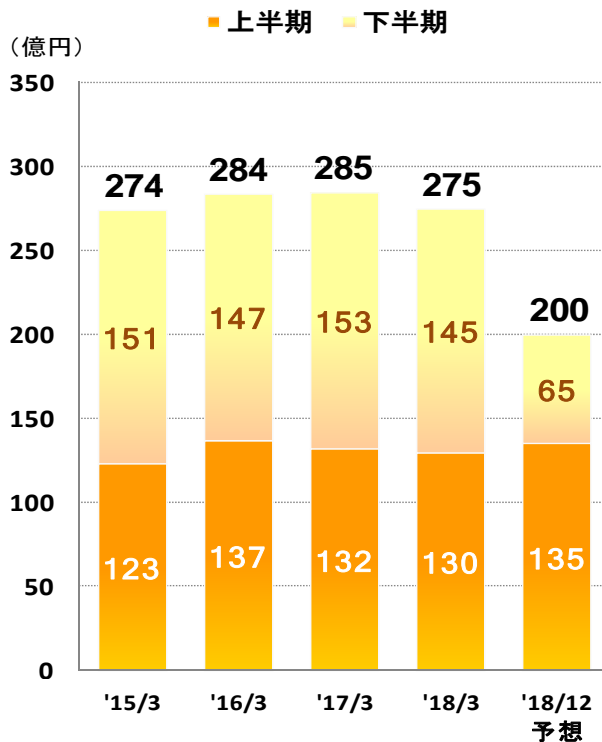


* '18/12予想は上半期(国内6カ月(4-9月)、海外9カ月(1-9月))、下半期(国内、海外ともに3カ月(10-12月))

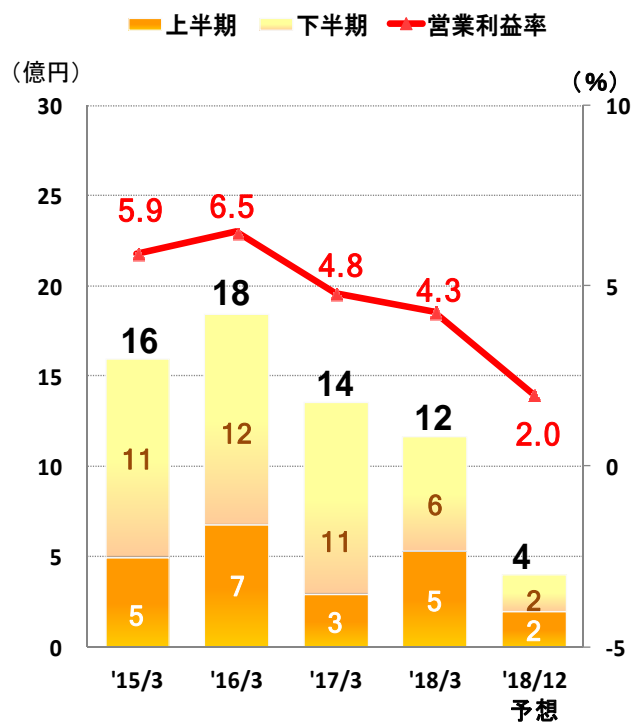
36/38

(2) 事業別の状況 印刷機器事業

売上高の推移



営業利益・売上高営業利益率の推移



* '18/12予想は上半期(国内6カ月(4-9月)、海外9カ月(1-9月))、下半期(国内、海外ともに3カ月(10-12月))

37/38

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。